



3～4月に市内で行われたイベントについてお知らせします

今市宿新酒の利き酒大会・全日本手打ちそば早食い選手権



利き酒に挑戦する参加者

3月11日(土)・12日(日)にニコニコ本陣多目的ホールで、今市宿新酒の利き酒大会と全日本手打ちそば早食い選手権が行われました。

11日に開催された利き酒大会は、6種の地酒の銘柄当てを競い、参加者は迷いながらも慎重に飲み比べを行っていました。

一方、12日に開催されたそば早食い大会は、85名が参加しました。中には用意された650gのそばを流し込むように食べる人や、競技に関係なくゆっくり味わって食べる人もいました。

鹿沼市から参加した神谷さんは「利き酒大会と早食い大会両方に参加しました。日本酒は全く正解できませんでした。そばの早食いは練習してきたのに、残念ながら成果が発揮できなかったのが来年リベンジします」と話してくれました。



5 そばを頬張り、好タイムが続出!

陽明門竣功式

3月10日(金)、約40年ぶりの大修理を終えた陽明門の竣功式が山内で行われました。

約4年の修理期間を終えた陽明門は、関係者約170名が見守る中除幕され、美しくよみがえった500体を超える彫刻や屋根などがお披露目されました。

式典の後は、一般の参拝者も通行し、驚きと感嘆の声を上げていました。



除幕された新しい陽明門

男女共同参画社会づくりフォーラム

3月11日(土)、今市文化会館で男女共同参画社会づくりフォーラムが行われました。

男女共同参画を積極的に行っている事業者の表彰や、ソウルオリンピックの柔道銅メダリスト山口香^{かほり}氏の講演などが行われました。

また、「女性起業応援ブース」が開かれ、市内で活躍する女性起業家が出店。多くの参加者にぎわいました。



「柔道から学んだ事」を話す山口氏

NKKO防災フェスタ

3月19日(日)イオン今市店で「NKKO防災フェスタ2017」が行われました。災害に対する平常時の備えや、防災意識と地域防災力の向上を目的に開催されました。

会場では、非常食体験コーナーやハシゴ車搭乗体験、起震車体験、消防士体験などが行われました。また、ステージでは、市や県のゆるキャラたちも登場し、訪れた方たちを楽しませていました。



消防士姿でポーズ!

日光キッズゲルニカ

3月19日(日)・20日(月・祝)、ニコニコ本陣多目的ホールで、平和を願うアートイベント「日光キッズゲルニカ2017」が行われ、2日間で約100名の親子が巨大キャンバスに絵を描きました。子どもたちは絵の具を手に、真剣な眼差しで筆を動かす姿が、今市地区の風景をカラフルですばらしい作品に仕上げました。



一筆一筆集中して描く子どもたち



今月の表紙

第1回ツール・ド・とちぎ



日光だいや川公園をスタート

第1回の開催となる自転車の国際公認レース「ツール・ド・とちぎ」が、3月31日(金)～4月2日(日)の日程で開催され、初日の31日は日光市などを舞台に熱い戦いが繰り広げられました。

今回のレースには、国内から10チーム、海外から4チームの計14チームが参戦。午前10時に日光だいや川公園を出発した選手たちは、二社一寺周辺地区や今市の市街地、落合地区、小来川地区などを經由し、ゴールの足利市までの115kmを力走しました。

県内からは宇都宮ブリッツェンや那須ブラーゼンなど3チームが参戦し、沿道の見物客たちからは、熱い声援が送られていました。3日間の日程を終え、初代王者にベンジャミン・ヒル選手(アタッキ・チーム・グスト)が輝きました。



混戦模様の小来川地区



アルバムを見て思い出を語る来場者



お汁粉を振る舞うおやじの会

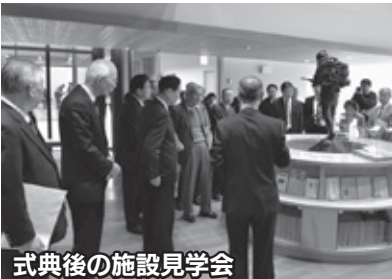
4月から統合により使用されなくなる栗山中学校校舎の内覧会が3月25日(土)に行われました。校舎内には41年間の歴史を振り返る写真の展示や、「栗中カフェ」と名付けられた休憩スペースで、「おやじの会」が作ったお汁粉が振る舞われ、多くの人が訪れていました。来場者たちは、当時の懐かしい写真や卒業アルバム、栗山中学校にゆかりのある先生たちからの

メッセージなどを見ながら、思い出に浸っていました。山越素子さんは「昭和46年に栗山に嫁いできて、娘たち2人がこの校舎にお世話になりました。私もこの校舎と共に過ごしてきたような気がします。当時のことが思い出され本心に懐かしいです。ここが使われなくなってしまうのは寂しいですね」と話してくれました。

「ありがとう！」栗中校舎



関係者によるテープカット



式典後の施設見学会

4月1日(土)、市の歴史に大きく寄与した二宮尊徳を顕彰する記念館などの施設がオープンしました。施設は二宮尊徳記念館の他に、歴史民俗資料館と市民活動支援センターが移転・併設されました。オープン記念式典は3月30日(木)に行われ、二宮尊徳にゆかりのある方や関係者など、50名が出席しました。

式典後には施設の見学会が行われ、参加した人たちは熱心な表情で展示物を見ながら職員の話に耳を傾けていました。また、見学会終了後には、日光少年少女合唱団による歌のステージが開催されました。9名の生徒・児童が手話を交えた清らかな歌声を披露し、オープンに花を添えました。



日光少年少女合唱団による歌のステージ

二宮尊徳記念館などの施設がオープン